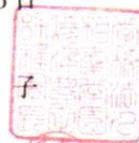


令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

令和5年3月15日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園長 佐野正子

〃 学校関係者評価委員会長 久保山なぎさ



- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『あかるく こころゆたかに』
- 教育目標
- 1 じょうぶなからだに
 - 2 いのちをたいせつに (思いやりのある子に)
 - 3 やる気のある子に
 - 4 よく考える子に

2 本年度の重点目標

- コロナ禍を意識しながらも楽しい園生活が送れるよう教育活動や環境構成の工夫・改善に努める。
- 研修テーマ『主体的な子どもの姿を目指して』を意識し、幼児一人一人の内面を育むようにきめ細かい保育を心掛ける。
- 学び合う時間を大切にしていくなかで、対話的な話し合いを重ね保育の質の向上を図っていく。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評点	幼稚園としての視点	評点	意見・評価
楽しい園生活が送れるよう教育活動や環境構成の工夫・改善に努める中で、幼児にとって充実したものになるよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ禍ではあったが、昨年度の反省を基に教育活動を精選したり、環境構成を整えながら保育を進めていった。保育行事についてはその時々コロナの状況を踏まえ、子ども達が楽しんで参加できるよう配慮した。 ・全園児で取り組むこと、学年単位で取り組みことクラス独自で取り組みこと等それぞれに工夫を加えながら実施できたことは、子ども達にとって経験の積み重ねになり自信に繋がっていったようだ。しかしながらまだ不十分と感じることもあり次年度に継続していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会当日、全クラスの保育の様子を参観させていただきました。クラス入口に「本日の保育内容・ねらい」が提示され、わかり易かったです。様々な保育内容を展開していましたが、どの年代においても子ども達が幼稚園生活を楽しんでいる様子を感じました。感性を育てる保育や言葉かけから子ども達の思いを大切にしている様子を見取ることができました。軸がしっかりしているからこそ年代ごと健やかに成長している姿が見られるのだと考えます。

<p>主体的な子どもの姿を目指し、幼児一人一人の内面を育むよう適切な指導・援助が考えられているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動や遊び・生活の中から、学年ごとの視点に沿って子どもの様子の事例を年間通じて取っていった。その事例を基に保育者の援助や、より主体的な姿につなげていくにはどういった手立てが必要か等、グループワークをしてきた。 ・個別指導計画を立案し共有することで同じ考えで取り組むことができた。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境が様々な現代社会の中で育つ子ども達。対応が難しいこともあるかもしれませんがしっかりとした考えで指導援助が行われていると感じました。日々の積み重ねの経験から、「聞く」「待つ」「折り合いをつける」等、多方面での育ちを感じました。今後も子どもに寄り添った保育となるよう望みます。
<p>園内の施設設備環境等幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭遊具等、日常的な目視や点検を行いながら安全管理に努めている。遊具の点検管理の他、事故を未然に防げるような子ども自身の安全管理に対する意識を育てていきたい。 ・コロナ対策として「マスク着用」「室内換気」「検温・消毒」等、年間を通じて実施していることもあり、子ども達の健康維持にも繋がっている。次年度は感染症分類5類となるので、対応の見直しを考えていく。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内においてはセキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保障するものとなっていることは評価できます。 ・懸案の駐車場問題の他、虫よけ対策としての網戸の必要性、裏門フェンスの多すぎる掲示物の精査等、幼稚園らしい環境整備として改善を求めます。

○自己評価、学校関係者評価を経て、令和5年度への課題として以下の点を挙げました。

1. 「主体的な子どもの姿を目指して」という研修テーマに沿って、様々な活動や遊び、生活の中から、主体的な子どもの姿を見つけ育てていく。
2. 学び合う時間を大切にしていくなかで、対話的な話し合いを重ね保育の質の向上を図っていく。

以上

○学校保健の柱

- ①園児の健やかな生活を守るため、保健に関する学習機会を推進し、自主的な健康生活の基礎を培う。
- ②健康診断を実施し、疾病異常の早期発見と早期治療を促すとともに、保護者との相談活動に努める。
- ③JRC（青少年赤十字）活動の精神に基づき、保育室内外の環境美化を推進する。
- ④保護者を含めて、家庭ぐるみでの食育教育・環境教育の推進を図る。

○学校安全の柱

- ①学校施設器具の定期安全点検を実施する。
- ②園児、教職員、家庭それぞれの防災意識を高め、同時に火災・震災に備えての園内定期訓練を実施する。
- ③保育時間中の園施設内の巡回・監督についての分担表を整備し、担当者による監督・指導を徹底する。
- ④園外活動時の事前現地調査（下見）ならびに当日運営にあたっての監督者数、父親代表者の同行に配慮し、安全な事業実施を図る。
- ⑤交通教育の徹底を図り、事故防止に努めるとともに、保護者、教職員の交通道德向上に向けての啓蒙活動を行う。
- ⑥正門、通用門、裏門の施錠・開錠管理を徹底し、不審者の侵入を防ぐとともに、定時園内巡回や防犯カメラ管理によって安全確認を進める。

以上の柱に基づき、別紙のような年間計画を作成し、その実施に努める。